

08  
2025

# Hiroshima Center Rotary Club

Monthly Magazine

vol.26



2025.8.6 「8月6日平和記念式典参列者おもてなし事業」

# 広島中央 ロータリークラブ

## 活動記録：2025年08月のまとめ

### 事務局

例会日：毎週月曜 12:30～13:30  
例会場：リーガロイヤルホテル広島  
広島市中区基町6-78  
リーガロイヤルホテル広島13F  
TEL：082-221-4894  
FAX：082-221-4870  
E-mail：hrcr@godorc.gr.jp  
URL：https://hrcr.gr.jp/



2025/08/04

第2067回例会

#### 場所

リーガロイヤルホテル広島

#### 本日のプログラム

新会員卓話「自己紹介」

#### 卓話者

金原 幸夫 会員

#### 担当委員会

プログラム

#### 祝事等

- ・ 会員誕生日（7名）  
横殿 淀江 大田 光村 西川(公) 戸田 小林
- ・ 配偶者誕生日（4名）平瀬 赤羽 古澤 福田

#### 会長時間

- 入会式（松宮 佳佑君、赤羽 隆太郎君）  
\* 会長より四つのテスト・バッジ・花束贈呈  
\* 推薦者より紹介と新会員の挨拶

本日の例会には、新しくお二人のメンバーをお迎えしての例会となります。松宮佳佑さん、赤羽隆太郎さんようこそ広島中央RCへ、会員一同心より歓迎いたします。

お二人は本日より我々の大切な仲間です。毎週の例会に加えてユーモアあふれる同好会活動などロータリアンとして人生に彩を加えていただきたいと思います。個人的には、同好会メンバーが一人しかいない山岳登山同好会、大田部会長のところもぜひ訪ねていただければ幸いです。

さて、80年目の8月6日を迎えます。私たちの先人の多くは廃墟となった被爆後の広島を今日の姿に大きく復興してくださいました。ロータリー活動を継続して行えるのもこうした先人の努力があったからこそだと思っております。80年という節目を迎える8月6日は、平和であることに感謝し、家族や友人と共に被爆の惨禍で犠牲となった無辜の民に手を合わせていただきたくお願いを申し上げます。

また、人間尊重・社会奉仕委員会を中心に、平和記念式典参加者に対するおもてなし奉仕事業を今年も開催してくださいと聞いております。大変暑い中の奉仕活動となります、活動に参加される方々は体調の管理を十分行っていたり、平和記念式典に参加された方々に冷たいお茶とかき

水を召し上がっていただければと思います。

そして毎年この奉仕事業のためにご尽力いただいております山野井会員に心より御礼申し上げます。

8月は我々広島に暮らす者にとって、特別な月であると思います。被爆の惨禍を知る被爆者の平均年齢も85歳を超えております。平和記念資料館も新しく改装される予定です。この惨禍を次世代に語り継ぐためにも被爆復興80年の節目の年に改めて平和を実感する夏にいただければと思います。そして、我々ロータリアンが平和に向けた奉仕活動を、引き続き行う使命があると感じているところでございます。

#### 入会式



松宮 佳佑 会員



赤羽 隆太郎 会員

#### 新会員卓話の風景



卓話者：金原 幸夫 会員

## 2025-2026年 8月6日 平和記念式典参列者おもてなし事業

日時 2025年8月6日(水) 8:30~9:50  
場所 本川公園 (中区猫屋町6番)  
出席者 三宅会長ほか15名のRC会員および3名のRAC会員  
(うち1名は京都外語大学ローターアクトクラブ) (計18名)

### 議題又は目的

2025年8月6日、被爆から80年という大きな節目の年に、今年も恒例の「おもてなしプロジェクト」を平和公園西側の本川公園にて実施いたしました。当日は朝8時頃から会員が集まり、原爆投下時刻の8時15分には全員で黙とうを捧げました。天候は晴れ、朝8時時点ですでに気温31.7℃と真夏日の厳しい暑さでしたが、少しでも涼んでいただきたいという思いを込め、参列者に冷たいお茶やかき氷を提供しました。特に、式典終了後には、沢山の方が立ち寄られ、多くの方々から「涼しくなった」「ありがとう」といった言葉をいただき、心温まる交流の時間となりました。

今年は、会長をはじめとする会員15名に加え、広島中央ローターアクトクラブから2名、さらに京都西ロータークラブが設立した京都外国語大学のローターアクトクラブの皆様にもご協力をいただき、世代や地域を超えた奉仕のつながりが広がる活動となりました。また、立ち寄られる外国人の方も年々増えている様子が見受けられ、国際的な交流の場としての意義も益々高まっていると感じられました。

戦後80年という歴史的な節目に実施した今年のおもてなしプロジェクトは、平和を祈る人々と共に過ごす貴重な時間であり、奉仕の原点に立ち返る機会ともなりました。この活動を支えてくださった会員の皆様、そしてご協力くださったローターアクトの皆様へ心より感謝申し上げます。特に入会したばかりの会員の皆様には、早速の奉仕活動にご協力いただきましたことを厚く御礼申し上げます。

署名 人間尊重・社会奉仕委員長 下原 唯千夏





## 場所

リーガロイヤルホテル広島

## 本日のプログラム

ゲスト卓話

「広島平和記念資料館の現状とこれから」

## 卓話者

広島平和記念資料館 館長

石田 芳文 様

## 担当委員会

プログラム

## 祝事等

・連続出席表彰（8名）

杉本 土肥 砂田 西川(公) 西井 加藤 高蓋  
木内

・結婚記念日（1名）福田

## 会長時間

○米山功労クラブ表彰（第25回目）

○米山功労者表彰（吉清有三会員）2回目

本日の例会には、例会卓話講師として、平和記念資料館館長石田芳文様をお迎えしております。ようこそ広島中央RCの例会にお越しをいただきました。会員一同心より歓迎をいたします。

石田様は、6月に天皇皇后両陛下が行幸啓された折に、平和資料館をご案内されるという、大役を担われました。ご熱心に耳を傾けられる両陛下は予定の時間を超過されて資料館を見学されたとお聞きしております。また、先日の石破総理をはじめ各国の要人のご案内などのご対応でお忙しい中お越しをいただき改めて感謝申し上げます。

先ず初めに、米山記念奨学会より25回目の「米山功労クラブ表彰」をいただきました。また、吉清有三（ゆうぞう）会員が米山功労者表彰をお受けになりました。ここで皆様にご披露をすると同時にクラブと吉清会員の功績に敬意と感謝をお伝え申し上げます。

さて、被爆復興80年の節目を迎えた平和記念式典はこれまでで最大の120の国や地域を代表する方々の参列の下、8月6日に開催されました。核兵器による抑止力に依存する核保有国に対して我々ロータリアンとして何ができるのか。ロータリーの世界的な友情の中で世界恒久平和の実現と核兵器の廃絶にどのような貢献ができるのか。考えさせられる式典であったと私は感じました。皆さんも、今後、ロータリーの世界大会やIR（国際ロータリー）の方々と触れ合うときに人類の普遍のテーマとして語り合うことが広島を拠点とするクラブとしての責任の一つではないかと思えます。

そのような中、人間尊重・社会奉仕委員会を中心に、平和記念式典参加者に対するおもてなし奉仕事業を本年度も開催していただきました。本当に暑い中、平和記念式典に参加された方々に冷たいお茶とかき氷を召し上がっていただきました。ご参加をいただきました会員の皆様には感謝と敬意を払いたと思います。この奉仕事業は、2014年から始まり広島中央RCの奉仕事業の一つとして定着しております。この奉仕事業のためにご尽力いただいております山野井会員や人間尊重・社会奉仕委員会の皆様に、改めて心より御礼申し上げます。

前回の会長時間の際にも触れましたが、8月は広島で活動するロータリークラブメンバーとして特別な月です。80年前、一発の原子爆弾でこの街は廃墟となりました。70年間は草木も生えないと言われた廃墟から、市民のたゆまぬ努力で今日の姿となりました。

本日は、平和記念資料館の館長をお迎えして、後ほど卓話をしていただきます。私たちの活動の原点を見つめなおす貴重な機会につながると思います。改めて、平和の尊さを心に刻み、皆様と共に、学び、感じ、行動へとつなげて参りましょう。

## 米山功労者表彰(2回目)



吉清 有三 会員

## ゲスト卓話の風景

卓話者：広島平和記念資料館  
館長 石田 芳文 様

## 場所

リーガロイヤルホテル広島

## 本日のプログラム

クラブフォーラム「会員増強について」

## 卓話者

砂田恭延会員増強・職業分類委員長

## 担当委員会

会員組織委員会

## 祝事等

(ニコニコ箱時間にSAA委員長より紹介)

## ・入会月会員 (9名)

杉本 上原 土肥 山肩 砂田 西川公 高蓋  
加藤 木内

## ・創業月会員 (5名)

田中 小佐古 平瀬 大坂 淀江

## 会長時間

## ●100万\$食事(幹事告知)

皆様こんにちは。本日も暑い中、例会へご出席をいただき感謝を申し上げます。

暑かった8月も残りわずかとなりました。広島市の多くの小中学校では本日が夏休み最後の日となります。慌てて夏休みの宿題を済ませようとする我が家の二人の子供たちは母親にお尻を叩かれて夏休みの宿題に取り組んでおりました。皆様のお子様やお孫さんはいかがですか。私は、「カエルの子は蛙だな」と思い。妻には申し訳ないのですが、なんだか微笑ましく感じた週末でした。昨日は、広島平和記念資料館の開館から70年の節目の日でした。朝、7時30分の開館と同時に10歳の息子と訪れ、改めて広島平和記念資料館の使命について考えるきっかけをいただきました。皆さんも、是非、資料館に足を運んでくださればと思います。

明日は長い夏休みが終わり、子どもたちの通学が始まります。皆さんも、これまで見掛けられていることと思いますが、広島市の通学路には「見守り隊」という地域のボランティアの方が朝夕の通学時間帯に横断歩道など交差点に、緑のベストに黄色の横断旗を持って、毎日子どもたちの通学を守っていただいております。通学中の子どもたちの交通事故について、広島市教育委員会に確認をしたところ、過去5年間の通学中の交通事故件数は、2019年90件だった事故件数は、翌年110件、115件、122件と右肩上がりです。昨年度の2024年度は140件と、この5年間で大きく増加しております。幸い通学中の死亡事故は発生してはいませんが、2018年は広島市西区で、2022年には安佐北区では、いったん帰宅後の小学生が交通事故に巻き込まれて尊い命を亡くし、犠牲となりました。

この「見守り隊」は、今から約20年前安芸区矢野で下校中に事件に巻き込まれた「木下あいりちゃん事件」をきっかけに各地で自然に立ち上がった組織です。毎朝大きな声で「おはよう」の挨拶が飛び交い、子どもたちの通学の「目」となり見守りを続けておられます。

「奉仕の精神」私たちのロータリー活動にも共通するところがあります。毎日、休むことなく継続する。その継続力に、我々も学ぶところがあるように思います。ぜひ、我が子、我が孫に加えて、朝の7時30分から8時ごろの時間帯の通学路を違った角度で見て、感じていただき、我々のロータリー活動に繋げていきたいと思っています。

本日の例会は、会員組織委員会による「会員増強について」のクラブフォーラムです。現在、我が広島中央ロータリークラブは長年の会員減少にその活路を見いだせない状況が続いております。クラブの魅力とは何か。会員お一人おひとりで協力して、今、何をすべきか。目の前にあるこの喫緊の課題に対して皆様と一緒に考え、行動する機会となれば幸いです。砂田恭延会員増強・職業分類委員長の卓越したクラブフォーラムに期待をして、会長時間といたします。本日もよろしくお祈りします。

## クラブフォーラム(会員増強・職業分類委員会)の風景



卓話内容は  
ホームページに  
掲載しております

